

会		議		記		録	
会 議 の 名 称		総務文教常任委員会				会議場所 第3委員会室	
						担当職員 山内	
日 時	平成29年5月25日(木曜日)				開 議	午前10時00分	
					閉 議	午前10時39分	
出席委員		◎竹田 ○奥野 三上 田中 山本 小松 福井					
執行機関出席者		大西総務部長、田中税務課長、谷税務課担当課長					
事務局		山内事務局次長					
傍聴	可・否	市民 1名		報道関係者 0名		議員 0名	

会 議 の 概 要

10 : 00

1 開議

2 日程説明

3 案件

(1) 行政報告

- 平成29年度市府民税当初課税（特別徴収分）における課税誤りについて
(総務部)

(総務部 入室)

総務部長 あいさつ及び概要説明
税務課長 説明

《質疑》

なし

<竹田委員長>

このようなことはあってはならないことであるので、再発防止に努めていただき、今後とも十二分な対応をよろしくお願いします。

(総務部 退室)

(2) 行政視察の総括について

<竹田委員長>

次に、行政視察の総括をよろしくお願いします。
お手元に行政視察報告書を配付させていただいており、それに基づき「考察」の部分を中心に、各市ごとに順次総括を願う。

(約5分間、行政視察報告書を黙読)

千葉県習志野市

<福井委員>

今回の視察の中で話を聞いて感じたことは、事業を主導される、あのような強烈な人がいないとできないということであった。

公会計の考え方であるとか、それをベースにした公共施設管理のあり方については、亀岡市でも取組まれており、公共施設等総合管理計画も策定されているが、なかなか血の通ったものとなっていないように思う。

習志野市に倣ってすべてができるとは思っていないが、公会計の考え方に則った部分というのは必要なだろうと強く思った。

このような取組みをすぐ本市でやれるかという、ベースとなる公会計的な考え方というものをある程度職員にも勉強してもらわないと、なかなかいかないのではないかという感想を持った。

結局、取組もうとする気があるのかないのかということになると思う。

<三上委員>

大学との協働作業がどうしても必要であると思う。

市役所の中に核となる人がいないと、また、協働するところがないとなかなか難しいのではと感じた。

この取組みを本市に導入してやっていくことに意義はあると思うが、それが成り立っていくのかは見えなかったのかなと思う。

全国的にも希なことだが、会計そのものを日々仕訳されているのは大変なことだと思うが、税金をどのように使うのか、財産としての値打ちをしっかりと計りながら計画的にお金を使っていくという点では、よりシビアで正確に物事を見ていけるのかなと感じた。

難しいことだが、これからますますシビアに財政を見ていかなければならないのかなと感じた。

<竹田委員長>

説明を聞かせていただいたが、講義のような感じであった。

全国的に波及しているといっても、そんなに数は多くなく、特異の分野に入るように思うが、会計の仕組みをわかりやすく市民に出前的に周知されていることは、おもしろい取組みだと思った。

日々の業務の中で、いろいろと難しい面もあると思うが、今まで個々に1つ1つの事業を見てしまいがちなので、全体的な視点で見るということではおもしろいのではないと思う。

導入の際の課題もあり、すぐにできるものではないと感じた。

千葉県いすみ市

<竹田委員長>

いすみ市では、小商い、創業に係る本を一冊いただいております、後ほど回覧させていただきますので、よろしくお願いします。

移住定住促進事業について、亀岡市では、3月補正で一部関連予算が計上され、まだまだこれからという段階であり、現時点では比較検討もできないような状況である。

今後、事業が具体化してきた時には、委員会としても視察内容を生かして、しっかり取り組んでいくということで、よろしくお願いします。

神奈川県藤沢市

<福井委員>

デリバリー給食について視察させていただき、大変参考になった。

本市においては、デリバリー弁当を試行することとなっているが、本当にできるのかということを、どこかの時点で確かめなければいけないと感じた。

<田中委員>

栄養士が中心になって献立を立てられており、給食の栄養面はクリアできると思う。

亀岡で実施するとした場合、エレベーターがあるのか、また、配膳室をどうするのかといったような問題がある。

新たな財政負担が出てくることでもあり、自校方式やセンター方式でやるよりも安いからということで、これを選んでるように思うが、食育の関係や給食法の関係からいってどうなのかということをきっちり見直して、合意が得られてからでないとダメではないかと思う。

当日、給食の見本を出してもらったが、彩りが悪かったのが印象に残っている。

<奥野副委員長>

亀岡市においても、今後、デリバリー弁当を進めていくにあたって、多くの課題があるように感じた。

<竹田委員長>

現状として、先生がコンビニに走っていただいている状況にあり、その点は大きく改善されると思うが、給食という食育の面でどうなのかということを見ていかなければならない。

いずれにしても、このことは今後の大きな課題であり、できれば近隣で事業実施されている所の視察も行っていければと思う。

<福井委員>

教育委員会に、取組みの現状を聞いてみてはどうか。

<竹田委員長>

今言っていたことは、委員全員の思いでもあると思うので、委員会の中で、できるだけ早い時期に進捗状況等を聞かせてもらいたい。

<三上委員>

藤沢市も人口が爆発的に増えて、学校を建てるだけが精一杯の状況の中で、給食を打ち切っていかれたように思う。

お金がない中でできるような形でしかできないという点では、亀岡市と共通するところがあるように思うが、そのような中でも、藤沢市では栄養士もきちんと付けて、食材も小学校と同じものをきちんと管理し、形としては整わないが、給食を実施するという基本的な精神がある。

亀岡市では、給食は無理なのでお弁当を提供するということで考えているのであれば、それはどうなのかと思うので、亀岡市の姿勢や具体的にどういう話になっているのかを聞いていきたいし、提案もしていきたい。

<田中委員>

藤沢市では、小学校全校で30年かけて自校炊飯に切り替えられたということであり、その点については、しっかりとした考えでやられているという感じがした。

また、直接的には関係ないが、小学校区のコミュニティが大事だということで、統廃合はしないという考えを持っておられていたが、その考えは地域づくり、まちづ

くりにとって大事であると感じた。

＜山本委員＞

市の栄養士と調理業者とが協力して、子どもたちのことを考えて栄養バランスのある給食という位置づけで、デリバリー給食をされているが、亀岡市はデリバリー弁当であり、そのあたりからも考え方が違うように感じた。

本市の中学校給食についての考え方を、しっかりと聞いていきたいと考えている。また、デリバリー弁当、給食を実施している所を視察して、その違いを勉強したいと思っている。

10 : 36

4 その他

（１）次回の日程について

— 下記のとおり確認 —

日時：6月19日（月） 午前10時～

案件：6月定例会における議案審査

散会 ～10 : 39